

統合実習

I 実習目的

既修の知識・技術・態度を統合し、医療チームの一員としての役割遂行をめざした看護実践力を修得する

II 実習目標

- 1 看護チームの一員としての役割を理解し、看護活動の実際を理解する
- 2 複数受け持ちを通して、看護の優先順位、時間管理を意識した援助を実践する
- 3 病院組織における看護の継続性を理解し実践する
- 4 夜間における患者の療養生活や看護師の状況に応じた臨床判断の思考を知る
- 5 看護管理の実際を通し、病院組織における看護管理者の役割を理解する
- 6 看護職と多職種との協働・連携の実際について理解する
- 7 実際の医療安全の取り組みから、医療安全管理について理解する
- 8 専門職業人として主体的に学習し、倫理に基づいた責任ある看護を実践する

III 実習構成

- 1 単位と時間数
2 単位（総時間数 90時間）

2 実習構成内容・実習場所・実習時間

実習構成内容	実習場所	実習時間
オリエンテーション	新潟県立十日町看護専門学校 新潟県立十日町病院 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院	7.5 H
師長シャドーイング実習 リーダーシャドーイング実習 スタッフシャドーイング実習	新潟県立十日町病院 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院	30 H
複数患者受け持ち実習		37.5 H
夜間実習		5 H
多職種なりきり実習	新潟県立十日町病院	4 H
学内実習（まとめ）	新潟県立十日町看護専門学校	6 H

IV 実習内容

実習目標・行動目標	実習内容
<p>1 看護チームの一員としての役割を理解し、看護活動の実際を理解する</p> <p>(1) チームリーダーおよびチームメンバーの役割を述べる</p> <p>(2) チームメンバーとして連携・協力・調整行動をする</p>	<p>①チーム全体の患者把握</p> <p>②チームメンバーへの連絡、メンバーの看護援助の進行状況把握と調整</p> <p>③他部門との連絡調整</p> <p>④チーム内での状況に合わせた協力要請と協力</p> <p>⑤チームメンバーとして情報共有</p> <p>⑥リーダーへの報告や他チームとの情報伝達</p>
<p>2 複数受け持ちを通して、看護の優先順位、時間管理を意識した援助を実践する</p> <p>(1) 複数受け持ち患者に必要な情報を優先順位を考慮して収集する</p> <p>(2) 複数受け持ち患者に必要な看護を優先順位・時間管理を考慮し計画する</p> <p>(3) 複数受け持ち患者の状態から行動計画立案の根拠を述べる</p> <p>(4) スケジュール変更の理由・根拠を述べる</p> <p>(5) 状況変化にあわせて報告・連絡・相談をする</p> <p>(6) 担当看護師と連携し、安全・安楽を考慮した援助を実施する</p> <p>(7) 日々の実施した援助について看護問題に基づき客観的に評価する</p> <p>(8) 評価した内容を翌日の援助に繋げる</p>	<p>①病棟の看護問題の把握</p> <p>②受け持ち患者の病態・病状・治療方針・日常生活状況の理解</p> <p>③受け持ち患者の全体像から看護の方向性の理解 ・健康レベル・発達段階・診断名・症状・検査データ・治療内容・看護計画など ・複数患者の状態、治療計画、看護計画に適切な行動計画を立案(担当看護師への相談、連絡、報告)</p> <p>④患者のアセスメントから、援助実施の可否、優先順位の判断(生命、治療、ニーズの充足、他への影響度)、担当看護師に相談・報告、行動計画の修正</p> <p>⑤複数の患者に対する援助の優先順位(生命、治療、ニーズの充足、他への影響度)、時間管理(援助に要する時間、実践力の自己評価、一日の行動計画立案と修正、時間調整、状況に合わせた援助方法)</p> <p>⑥状態に合わせた看護計画の実施 ・状態の観察と状況判断、適時・適切な報告、報告・連絡・相談の内容、援助時の留意点・方法</p>
<p>3 病院組織における看護の継続性を理解し実践する</p> <p>(1) 交代勤務の中で情報の伝達や情報を共有する必要性を述べる</p> <p>(2) 看護を継続するための患者の状態を次の勤務帯へ引き継ぐ</p>	<p>①看護チーム内における看護の継続性 ・準夜勤務看護師への申し送り</p> <p>②病院組織としての看護の継続性</p> <p>③保健医療福祉チームの連携の必要性と看護の役割</p>
<p>4 夜間における患者の療養生活や看護師の状況に応じた臨床判断の思考を知る</p> <p>(1) 夜間における療養生活や患者の状況(身体・心理)に対応した看護を見学し、その重要性を述べる</p> <p>(2) 準夜勤の勤務体制から、安全を考慮した援助の実際を述べる</p> <p>(3) 夜間における優先順位・時間管理・多重課題による看護師の行動の意味を推察する</p>	<p>①夜間の患者の状態・反応・心理 ・夜間の療養環境 ・夜間の患者の反応</p> <p>②夜間の看護援助場面 ・日常生活援助 ・安全確保、協力体制、優先度判断</p> <p>③夜間の患者の安全確保 ・夜間の病棟管理体制・業務の進め方 ・夜間のリーダー業務</p> <p>④夜間の看護援助場面</p>

<p>5 看護管理の実際を通し、病院組織における看護管理者の役割を理解する</p> <p>(1) 病院組織における看護管理の実際を述べる</p> <p>(2) 看護マネジメントの視点から看護管理者の役割を述べる</p>	<p>①病院組織の中の看護部の機能・位置づけ</p> <p>②看護管理者の役割と業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の中での報告・連絡・相談、調整の実際 ・看護管理システム
<p>6 看護職と多職種との協働・連携の実際について理解する</p> <p>(1) 多職種それぞれの役割を説明する</p> <p>(2) 看護職と多職種との協働・連携の必要性を説明する</p>	<p>①薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学・作業療法士などの役割</p> <p>②看護職と多職種との協働・連携</p>
<p>7 実際の医療安全の取り組みから、医療安全管理について理解する</p> <p>(1) インシデントが起こりやすい状況を述べる</p> <p>(2) 病棟で行われている医療安全対策の実際を述べる</p> <p>(3) インシデント・アクシデント発生時の対応とその必要性を述べる</p>	<p>①看護業務、患者の状況（認知・身体・心理・急変など）、療養環境、医療機器の取り扱い、治療内容、タイムプレッシャー、多重課題、優先順位、多職種との連携</p> <p>②患者の状態に応じた安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備・ベッド柵・安全マットなど <p>③医療事故防止対策マニュアル</p> <p>④インシデント・アクシデント発生時の対応</p> <p>⑤インシデント・アクシデントの分析、初期対応の必要性、インシデント・アクシデント報告の重要性</p>
<p>8 専門職業人として主体的に学習し、倫理に基づいた責任ある看護を実践する</p> <p>(1) 看護チームの一員として責任ある行動がとれる</p> <p>(2) 実践力を高めるため、積極的に学びの機会を得る</p> <p>(3) 看護援助場面を通して、看護専門職としての役割と自己の課題を述べる</p>	<p>①患者・家族を尊重した対応・言葉遣い、看護者の倫理綱領、倫理観</p> <p>②看護技術の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術経験録の到達度に沿った看護技術の習得 <p>③専門職としての看護の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護者の倫理綱領、援助に対する責任 ・援助の安全・安楽 <p>④看護者としての自己の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師のモデル像 ・看護実践の評価

V 実習方法

1 シャドーイング実習

- 1) 看護師長の業務をシャドーイング実習する
- 2) リーダーの業務をシャドーイング実習する
- 3) スタッフの業務をシャドーイング実習する

2 複数の患者受け持ち実習

- 1) 患者を2名受け持ち、実習を展開する
- 2) 学生は病棟の看護計画に沿って看護実践する
- 3) 患者の状況をその都度判断し、援助の留意点・方法を考え状態にあわせて実践する
- 4) 患者の援助の優先順位を決定し、時間管理に対応した実践ができる
- 5) チームで進められるケアに参加し、看護実践する

3 夜間実習

- 1) 夜間勤務帯で実習を行う
- 2) 夜間実習はシャドーイング実習とする
- 3) 夜間実習の翌日は原則休みとする

4 多職種なりきり実習

- 1) 割り当てられたセクションへ行き、オリエンテーションを受ける
- 2) 学生担当者にシャドーイングし、多職種連携・協働の実際を見学する

5 看護技術の修得

- 1) 診療の補助技術を重点に、技術経験録の未修得項目を修得する
- 2) 患者の状態にあわせた援助方法を検討し、技術を修得する

VI 実習記録

- 1 評価表（統合 様式 1）
- 2 学修成果レポート（統合 様式 2）
- 3 多職種連携に関する学修成果レポート（統合 様式 3）
- 4 医療安全に関する学修成果（統合 様式 4）
- 5 シャドーイング実習記録
 - ①看護師長実習記録（統合 様式 5）
 - ②リーダー実習記録（統合 様式 6）
 - ③スタッフ実習記録（統合 様式 7）
 - ④多職種なりきり実習記録（統合 様式 8）
- 6 受け持ち患者記録
 - ①受け持ち患者基礎情報（統合 様式 9—1）
 - ②看護上の問題及び看護計画（統合 様式 9—2）
 - ③複数受け持ち実習実践記録（統合 様式 9—3）
- 7 夜間実習記録（統合 様式 10）
- 8 事前・追加学習

VII 実習評価

最終評価は、評価表に基づき担当教員が最終評価をする。